

医心 伝心

今、富山県医学会が変わる!!

県医常任理事 南里 泰弘

富山県医師会の会員総数はH26. 9. 25現在1591人であり、その内訳として医療機関の開設者・管理者、医療法人等の理事長などA会員が706名(44%)です。公的医療機関等の管理者であるB1会員が42名(3%)、一般勤務医であるB2a会員が718名(45%)、医師免許取得後8年未満の勤務医であるB2b会員が12名(0.6%)、臨床研修医であるB3会員が23名(1.4%)、C会員が90名(6%)であり、A会員を越えた半数以上が勤務医であります。A会員の県医師会への入会率は100%近くありますが、勤務医の入会率は半数ほどでありまだまだ低いのが現状です。また、勤務医の先生方の入会者は50歳以上で67%でありその多くが部長以上の先生方で占められています。実際病院で先頭に立って働いている30代・40代の若手・中堅の先生方の入会が少ないのが現状です。これらの先生方にぜひ医師会に参加していただき、これからの医師会に対して御意見等いただき医師会のあるべき姿を模索していただかなければいけないと思っています。そのためには、勤務医の先生方に医師会活動を知っていただくところからと思っています。その一環として富山県医学会の全面的な見直しを行います。今までの県医学会は、研究助成金を受けた先生の発表3演題と特別講演1演題を中心に行っていましたが、参加者数が少ないのが問題でありました。他府県の医学会をみえますと多くの先生方の参加がみられ、勤務医の先生も開業医の先生も共にテーマをひとつにして

多くの医療問題、先進的な診断・治療法について発表され議論されています。地域医療・救急医療を守るために医師だけではなく、医療従事者が一堂に集まって自分たちの取り組みを皆に知らしめる場にしたいと考えております。また医学会は研究成果の発表の場だけでなく、先生方の憩いの場として近況を語るコミュニケーションの場としても活用していただきたいと考えております。各地域においては、公的病院と開業医の先生方との病診連携・病病連携は行われていると思いますが、富山県全体の病診連携・病病連携をテーマに今回は各公的病院の先生方に各病院の特徴的な取り組みを15分程度で講演していただき、病院の先生方と開業医の先生方とが顔の見える関係を築いていただきたいと願っております。今年度は来年3月15日の日曜日、午前10時からの開演とし、特別講演としてランチョンセミナーも1講演企画しております。また午後からは1階大ホールでの研究助成の発表と並行して4階会議室において一般演題としてのポスターセッションも設けております。このポスターセッションでは若手の先生方やコメディカルの方々の発表の場にしていただければと考えております。富山県医学会は医師だけではなくコメディカルをも含めた医療関係者全体の発表・コミュニケーションの場として新しく出直します。ぜひとも多くの先生方、医療関係者の方々の参加をお願いいたします。